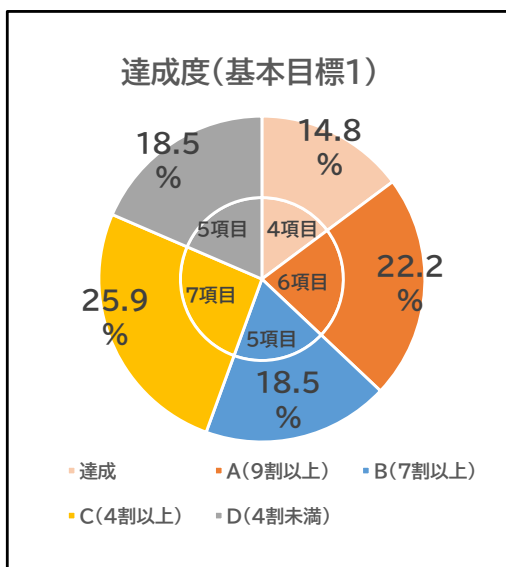


数値目標一覧 <第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和2年度～令和6年度）>

基本目標	①	2	3	4	5	人づくり・地域づくりを推進する
------	---	---	---	---	---	-----------------



- 【新規事業】
- R2
- ボランティアの育成
新規内容 ふくし教育事例集の作成
 - ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動
新規内容 「ボラカフェ」「おうちでボランティア」の開催
 - 通いの場支援事業
新規内容 「シニアイベント応援交付金」制度創設
 - 障がい者就労支援事業
新規内容 事業者と就労支援事業の懇談会を開催
 - ボランティアの活動支援事業
新規内容 松江市社会福祉法人連絡会活用サポートガイドの作成
- R4
- まちづくりでつながる日

【評価】

- 数値目標27項目のうち、15項目が7割以上の達成度（達成！,A,B評価）。
- 一方、達成度が4割未満であるD評価が5項目ありました。

数値目標

項目	単位	R1 策定年	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
			← コ ロ ナ 禍 →			(11月末)	(目標値)	
1. 福祉教育・学習の推進（進めるべき25の方策）								
1 認知症サポーター養成研修受講者数	人	20,949	21,825	22,579	23,323	23,682	27,000	B
2. ボランティアの育成・参加促進・コーディネート強化								
2 まめなかポイント事業（ボランティア事業） 個人登録者数	人	93.0	98	97	96	101	300	D
説明	新型コロナウイルスの影響を受け、令和2年度から施設がボランティアの受入れを一時中止し、個人登録者は活動を制限される状況にあった。ボランティアセンター広報誌やHP等を活用して事業内容の発信を行い、個人登録者数の増加につなげる。							
3 ボランティア活動保険加入者数	人	8,459	6,087	6,450	6,615	6,562	8,200	B
3. 自治会活動の活性化								
4 町内会などの加入率	%	60.1	59.9	59.9	58.5	57.4	70	B
5 なごやか寄り合い実働会場数	会場 (箇所)	372	257	254	302	-	400	B
6 なごやか寄り合い参加者数	人	9,066	4,621	4,666	5,078	-	10,000	C
7 要配慮者支援推進事業世帯カバー率	%	37.9	39.4	42.0	43.3	44.7	70	C

数値目標

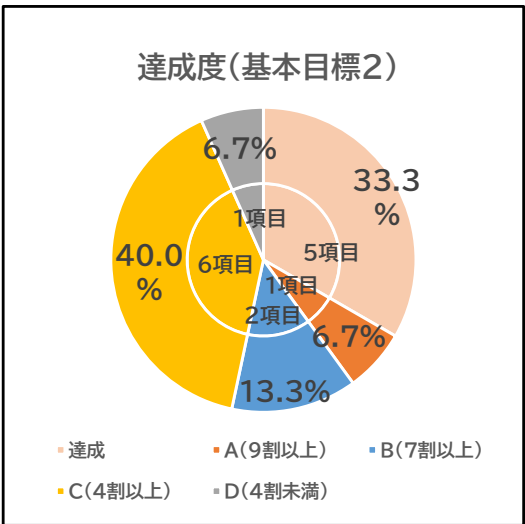
	項目	単位	R1 策定年	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
				← コ	□ ナ	禍 →	(11月末)	(目標値)	
8	見守りネットワークの協力事業者数	事業所 (箇所)	255	255	258	282	367	300	達成!
説明	高齢者の異変を感知し、早期支援につなげるため実施する見守りネットワーク協力事業において、協力事業者数を増やすことができた。引き続きさまざまな分野の協力事業所を新規開拓することが必要である。								
4. 公民館・地区社協等を拠点とした地域福祉活動の推進・活動拠点の確保									
9	第2層協議体設置数	地区	29	29	29	29	29	29	達成!
説明	29地区ごとで行うスタッフ会など協議体に参加し、地区地域福祉活動計画の進捗管理や活動支援を行ってきた。29地区ごとに第6次地区地域福祉活動計画策定委員会を設置、生活支援コーディネーターや地域包括支援センター相談員と参画することで地域住民と地域福祉活動の振り返りや地域課題の検討、地区関係者との関係づくりを行うことができた。								
10	拠点をもつ単位自治会の割合	%	52.6	52.6	52.6	52.7	52.8	53.3	A
11	公民館の利用者数	人	798,234	366,178	477,815	537,854	600,000	800,000	A
12	公民館の利用件数	件	49,915	34,065	38,776	42,671	45,000	50,000	A
5. 地域の居場所づくり									
13	通所型サービスB団体数	団体	20	23	24	18	21	50	C
14	訪問型サービスB団体数	団体	3	3	3	1	1	10	D
説明	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて活動を休止している団体もあるため、再開に向けた働きかけを行うとともに登録団体を拡充して行く必要がある。住民主体型サービスについて、広報活動を継続し、補助制度の周知を行うことで、元気高齢者が社会参加できる場を増やす。								
15	シルバー人材センター加入者数	人	801	879	896	894	996	1,020	A
16	認知症カフェ数(会場数)	会場	8	8	9	8	9	10	A
17	チームオレンジ設置数	カ所	1	1	1	1	1	3	D
説明	ボランティア希望の認知症サポーターを、認知症カフェの運営支援など実際の活動に繋げていく必要がある。ボランティアを希望される認知症サポーターの把握を継続するとともに、認知症カフェやなごやか寄り合いへの参加について運営主体との協議を進める。								
18	シニアイベント件数	件	-	7	11	11	10	100	D
説明	シニア世代の地域活動の場が活性化していくよう支援を継続する必要がある。シニア世代の通いの場の活性化を支援する「シニアイベント応援交付金」申請団体を増やすため、様々な媒体を活用した周知を行う。								
19	地域活動支援センター事業の①実施箇所数	カ所	8	8	9	9	9	8	達成!
説明	継続して、地域活動支援センターの運営及び支援、障がい者団体の事業活動の支援を行うことができた。								
20	地域活動支援センター事業の②利用人数	人	580	447	603	483	425 (9月末)	660	C

数値目標

	項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
			策定年	←	コ	□	ナ	禍	
6. 地域リーダーの育成									
21	指導的立場にある女性の割合	%	23.1	23.1	23.1	23.1	11.1	30.0	D
	説明	女性が率先して社会活動を行っていくためには、現状として家庭内の家事・育児の負担が男性に比べ女性に偏る傾向を改善することが必要である。家事・育児を夫婦間で適切に分担することで家庭における女性の負担軽減を図るため、今後も引き続き男性の育児参画・育休取得促進をPRしていく。 女性活躍推進のため、経営者・管理職向けセミナーを実施するほか、実行可能な取組みについて引き続き検討する。							
22	附属機関の女性委員の割合	%	33.8	35.5	34.8	36.7	37.5	40.0	A
7. 企業・社会福祉法人の社会貢献の促進									
再掲	見守りネットワークの協力事業者数（拠点数）〈再掲〉	事業所	255	255	258	282	367	300	達成！
23	ハローワークを通じた障がい者の就職件数	件	362	363	330	350	172 (10月末)	411	B
8. NPO・JA・生協等諸団体との共創・協働									
24	共創事業割合（29年度からの総合計画）	%	68.2	68.3	68.3	68.3	—	50.0	達成！
	説明	「松江共創・協働マーケット」の開催により、NPO、市民、企業、行政・公的機関など様々な団体等が共創・協働で事業を実践するためのきっかけづくりを行った。R4には「まちづくりでつながる日」へリニューアル、地域課題の解決に向けて、様々な立場の団体がグループワークと一緒に取り組むことで、各提案団体の事業への理解が深まり、地域の実情や直面している問題点についても共有することができた。 ・NPO、市民、企業、行政・公的機関など様々な団体等が地域課題及びその解決に向け、共創・協働による多様な取り組みを知り、解決に向けて共に考える場「まちづくりを考える日」では「まちづくりを共に考え、実践がイメージできる機会を提供する」を達成できた。よりよいイベントとなるようブラッシュアップを図っていく。							
25	研修会又は会議開催数	回	1	1	2	2	2	3	C
9. 寄附文化の醸成									
26	共同募金額	円	28,850,000	26,496,037	26,784,806	25,884,800	14,858,614	31,500,000	C
27	募金百貨店	件	3	5	7	7	7	9	C
10. 要配慮者支援の推進									
再掲	要配慮者支援推進事業世帯力パー率 〈再掲〉	%	37.9	39.4	42.0	43.3	44.7	70.0	C
再掲	見守りネットワークの協力事業者数（拠点数）〈再掲〉	事業所	255	255	258	282	367	300	達成！
再掲	なごやか寄り合い実働会場数 〈再掲〉	会場	372	257	254	302	—	400	B
再掲	なごやか寄り合い参加者数 〈再掲〉	人	9,066	4,621	4,666	5,078	—	10,000	C

数値目標一覧 <第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和2年度～令和6年度）>

基本目標	1	2	3	4	5	包括的な支援体制をつくる
------	---	---	---	---	---	--------------



- 【新規事業】
- R3
- 重層的支援体制整備事業
 - セーフティーネット会議の開催
 - 避難行動要支援者支援システム更新事業
 - 介護人材確保対策事業
 - 新規内容 アセッサー講習受講支援事業補助金交付
 - 介護職PRコンテンツの制作
 - 介護事業所の生産性向上
- R4
- ふくしなんでも相談所
 - 拡充 ふくしなんでも相談所サテライト

【評価】

- 数値目標15項目のうち、8項目が7割以上の達成度（達成！,A,B評価）。
- 一方、達成度が4割未満であるD評価が1項目ありました。

重層的支援体制整備事業

令和3年度より重層的支援体制整備事業を実施し、地域住民の複雑化・複合化した課題や制度の狭間の課題に対応するため多機関が連携する包括的な体制の構築を進めた。

単独の相談支援機関や既存の取り組みでは対応が難しい事例を重層的支援会議で各分野の支援者や助言者が一同に会し支援の方向性を整理、オーダーメイドの支援プランを作成し、課題の解決につなげている。

■会議開催数（プラン検討数） R3：4回（13ケース） / R4：6回（12ケース） / R5（11月末）：3回（5ケース）

セーフティーネット会議

あらゆる生活課題に対応するため、地域、福祉、医療、司法、教育などの様々な分野から参画、住民の生活課題の解決に関係機関が連携し、包括的に対応する取り組みを推進する会議。会議内に「権利擁護部会」と「生活困窮部会」を設置。関係機関のネットワークの構築を図り、生活課題の共有と、解決方法を検討する。

数値目標

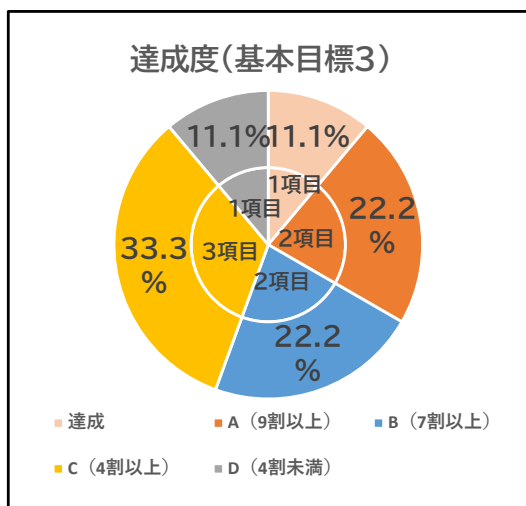
	項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
			策定年	←	コ	□	ナ	禍	
11. 全世代・全対象型地域包括支援や総合相談の構築に向けた関係機関の連携強化									
28	ふくしなんでも相談所の設置数	カ所	15	15	14	47	47 (R5.9)	43	達成!
説明	地域の様々な相談をワンストップで受け止めるふくしなんでも相談所については市内14カ所に設置しているが、市内社会福祉法人・連携薬局の協力を得て、ふくしなんでも相談窓口を開設、さらに拡充することができた。								
29	妊娠届出の面接件数	件	1,527	1,496	1,406	1,336	816	1,338	A

数値目標

項目	単位	R1 策定年	R2	R3	R4	R5	R6	達成度	
			← コ	ロ ナ	禍 →	(11月末)	(目標値)		
30	相談支援事業所の相談支援件数	件	4,386	5,166	5,710	14,730	10,918	7,000	達成!
31	サポートステーション絆における相談件数 (基幹相談支援センター絆における相談支援件数)	件	841	1,079	949	2,745	1,727	1,000	達成!
説明	No30, 31>障害のある方やその家族が安心して相談することができるよう、令和2~3年においてはサポートステーション絆を総合的な相談窓口とし、相談支援を行った。令和4年度には基幹相談支援センター絆を開設し、総合相談窓口としての機能に加え、地域の相談支援事業所に対する助言・指導や研修会などを行い、相談支援体制の強化に取り組んだ。								
32	在宅医療・介護に関する市民講座開催数	回	14	16	16	17	17	29	C
33	介護職員の充足率	%	15.0	13.0	11.0	10.0	14.0 (10月末)	25.0	C
12. 地域包括支援センター機能の充実									
34	地域ケア会議（地域課題検討）開催回数	回	12	5	5	12	8	12	C
35	通所型サービスB団体数 〈再掲〉	団体	20	23	24	18	21	50	C
36	訪問型サービスB団体数 〈再掲〉	団体	3	3	3	1	1	10	D
説明	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて活動を休止している団体もあるため、再開に向けた働きかけを行うとともに登録団体を拡充して行く必要がある。 住民主体型サービスについて、広報活動を継続し、補助制度の周知を行うことで、元気高齢者が社会参加できる場を増やす。								
37	認知症初期集中支援チーム対応件数	件	26	27	32	34	35	50	B
13. 制度の狭間にある生活課題への対応									
38	民生委員・児童委員活動日数	日	69,482	62,694	66,917	67,161	45,320	71,000	C
39	見守りネットワークの協力事業者数（拠点数） 〈再掲〉	事業所	255	255	258	282	367	300	達成!
説明	高齢者の異変を感知し、早期支援につなげるため、見守りネットワーク協力事業において協力事業者数を増やすことができた。								
40	なごやか寄り合い実働会場数 〈再掲〉	会場	372	257	254	302	-	400	B
41	なごやか寄り合い参加者数 〈再掲〉	人	9,066	4,621	4,666	5,078	-	10,000	C
42	研修会開催回数	回	2	2	2	8	7	7	達成!
説明	ケアマネージャー、相談支援専門員の専門職が協議や情報交換を行うことができる会議や研修会を実施した。								

数値目標一覧 <第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和2年度～令和6年度）>

基本目標	1	2	3	4	5	福祉サービスが利用しやすい環境整備を行う
------	---	---	---	---	---	----------------------



【新規事業】
R3
○ 中核機関の設置 松江市権利擁護センターの設置

【評価】
○ 数値目標9項目のうち、5項目が7割以上の達成度（達成！,A,B評価）。
○ 一方、達成度が4割未満であるD評価が1項目ありました。

成年後見制度利用促進計画
成年後見制度の充実

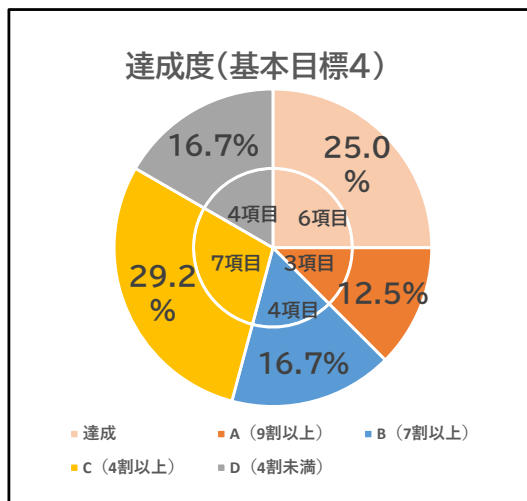
- 令和3年7月に成年後見制度の中核機関として松江市権利擁護推進センターを開設。
- 中核機関は成年後見制度を促進するための5つの機能（広報、相談、利用促進、後見人支援、不正防止）を持ち、後見人等と関係者が日常的に本人を見守ることができるチームづくりを進めるとともに、専門職団体(弁護士会・司法書士会・社会福祉士会等)と関係機関がチームを支援する「地域連携ネットワーク」の中核となる事務局機能を持つ。
- 制度の内容や権利擁護推進センターの業務の取り組みについて、広く市民・関係者に周知を図れるよう、公開講座や出前講座、広報誌等を通じて広報活動に取り組んでいる。
- 今後、後見人等の担い手不足が見込まれることから、その候補者となる市民後見人を養成するため、市民後見人養成講座を開催し、担い手の育成を図っている。
- 個別ケースにおける受任者の選定にあたっては、受任する職種を決定する会議において、専門職団体（弁護士会・司法書士会・社会福祉士会等）から選出された委員とともに、当事者にとって解決すべき課題や必要な支援を検討したうえで、適切な職種を決定している。
- 身寄りがない、親族の協力が得られない、また、経済的な理由などによって制度の利用が困難な場合は、市長が審判の請求を行う市長申立制度の活用や、後見人等の活動に対する報酬助成を行うことで、成年後見制度の利用促進を図っている。
- 受任者調整会議開催数（調整件数）R3：15回（27件） / R4：22回（47件） / R5（11月末）：14回（25件）

数値目標

	項目	単位	R1 策定年	R2	R3	R4	R5	R6	達成 度
				← コ	□ ナ	禍 →	(11月末)	(目標値)	
14. 権利擁護の取り組みの充実									
43	個別事例検討会	回	177	151	113	130	119	200	C
	出前講座	回	8	7	7	3	4	10	
44	出前講座	回	3	3	0	2	1	10	B
	障がい福祉サービス事業所に対する研修	回	1	1	0	1	5	1	
45	児童虐待防止セミナー	回	2	3	3	1	1	2	C
46	日常生活自立支援事業 ①利用者数の増加	名	132	133	135	135	101	140	C
	日常生活自立支援事業 ②生活支援員の活動者数を確保する。	名	40	36	40	40	30	50	
47	出前講座・研修 累計参加者数 (H28～累計)	人	7,712	9,011	10,943	13,164	13,790	12,000	達成!
説明	事業所、学校等で手話や差別解消の出前講座を実施し、ヘルプマークの周知も行った。 市内への障がい理解、合理的配慮の浸透はまだ十分ではないため、継続して出前講座等により啓発活動を行う必要がある。								
15. 成年後見制度の充実 《成年後見制度利用促進計画》									
48	市民後見人数（累計）	人	3	3	5	5	6	8	B
49	成年後見制度利用者数	人	500	540	547	554	560	600	A
16. 効果的な情報提供・情報共有化の推進									
50	防災メール登録数の増加	件	10,494	11,639	12,094	12,833	13,294	35,000	D
説明	防災メール登録数は計画目標には達しなかったが、出前講座や各種イベント等を活用し、防災メールをはじめとする情報伝達手段（防災情報X、防災速報アプリ）の広報を行った結果、登録者数が増加した。災害情報は複数の手段で配信することが重要であり、特に近年普及しているスマートフォンを活用した、プッシュ型で通知する情報伝達手段（防災情報X、Yahoo!防災速報アプリ）も防災メールの登録と併せて広報することで、「効果的な情報提供・情報共有化の推進」を図る。								
51	社会資源情報を整理し、活用しやすい形で情報提供することで、活用を促進させる。	(閲覧累計) 件数	15,000	15,000	16,400	19,865	21,392	22,000	A

数値目標一覧 <第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和2年度～令和6年度）>

基本目標	1	2	3	④	5	生活課題の解決に向けた取り組みを推進する
------	---	---	---	---	---	----------------------



- 【新規事業】
- | | |
|---------------------|-------------------|
| R2 | R4 |
| ○ 子育てAIコンシェルジュ事業 | ○ 病児保育事業 |
| ○ 失語症者向け意思疎通支援事業 | ○ 医療的ケア児支援事業費 |
| ○ AYA世代へのがん対策事業 | ○ 自然に健康になれるまち推進事業 |
| R3 | R5 |
| ○ 多胎児養育家庭へのサポーター支援 | ○ 子育ての日イベント事業 |
| ○ 産婦健康診査事業 | ○ こども家庭センターの設置 |
| ○ 松江市重度障害者等就労支援特別事業 | ○ 医療的ケア児支援事業 |
| ○ 妊婦・パートナー歯科健康診査事業 | |

【評価】

- 数値目標24項目のうち13項目が7割以上の達成度（達成！,A,B評価）。
- 一方、達成度が4割未満であるD評価が4項目ありました。

地方再犯防止推進計画
再犯防止施策の推進

- 市のホームページに更生保護のページを新設し、保護司の紹介や保護司会機関紙等を掲載し、更生保護ボランティアの周知を行った。引き続き市民の理解促進を図っていく。
- 社会を明るくする運動では、コロナ禍の中で、松江城ライトアップ等の非対面での広報活動を新たに取り入れた。また、R5年度からはJR松江駅前での街頭活動等、対面での活動も再開しており、再犯防止や更生保護に関する市民の理解促進を図った。
- 暮らし相談支援センターを窓口に、関係機関と連携して就労に向けた支援を行っている。

数値目標

項目	単位	R1 策定年	R2	R3	R4	R5	R6	達成度	
			← コ □ □ ナ 禍 →	禍	→	(11月末)	(目標値)		
17. 子育て・子育て支援の充実									
52	年度当初の保育所待機児童数	人	0	0	0	0	0	達成！	
説明	令和2年度～5年度まで年度当初の待機児童数は0であった。								
53	妊娠届出の面接件数	件	1,527	1,496	1,406	1,336	816	1,338	A
54	まつえWLB推進ネットワーク事業所数	社	142	152	156	156	172	380	C
55	ファミリーサポートセンター利用件数	件	3,616	2,953	2,606	2,693	1,749 (10月末)	3,220	B

数値目標

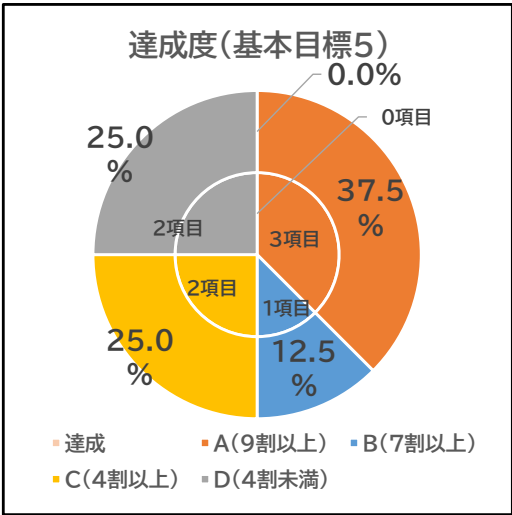
項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	達成度	
		策定年	← コ	口 ナ	禍 →	(11月末)	(目標値)		
18. 障がいのある人が地域で安心して暮らせる社会の実現									
56	出前講座・研修 累計参加者数 (H28～累計) 〈再掲〉	人	7,712	9,011	10,943	13,164	13,790	12,000	達成!
説明	事業所、学校等で手話や差別解消の出前講座を実施し、ヘルプマークの周知も行った。市内への障がい理解、合理的配慮の浸透はまだ十分ではないため、継続して出前講座等により啓発活動を行う必要がある。								
57	相談支援事業所の相談支援件数 〈再掲〉	件	4,386	5,166	5,710	14,730	10,918	7,000	達成!
58	サポートステーション絆における相談件数（基幹相談支援センター絆における相談支援件数） 〈再掲〉	件	841	1,079	949	2,745	1,727	1,000	達成!
説明	No57,58>障害のある方やその家族が安心して相談することができるよう、令和2～3年においてはサポートステーション絆を総合的な相談窓口とし、相談支援を行った。令和4年度には基幹相談支援センター絆を開設し、総合相談窓口としての機能に加え、地域の相談支援事業所に対する助言・指導や研修会などを行い、相談支援体制の強化に取り組んだ。								
19. 健康づくりと介護予防の推進、認知症対策									
59	健康寿命(65歳平均自立期間)	年	-	-	男性18.47年 女性21.59年 R1年度実績 (H30～R2の平均値)	男性18.43年 女性21.78年 (R1～R3の平均値)	男性18.34年 女性21.39年 (R12)		達成!
説明	全地区で結成された「健康まつえ21推進隊」、地域の中で健康づくりの取り組みを行う「保健協力員」や、「ヘルスポランティア協議会」及び地区担当保健師が連携し、それぞれの地域実情に合わせた健康づくり活動を行った。事業所での健康づくりについては、健康まつえ応援団登録事業所等に対し、一人ひとりが毎日のセルフチェックを行い、自らの生活習慣見直しにつなげる「るくる」についてやけんしんについて等、健康に関する情報提供を行うなど、応援団登録事業所や包括連携協定締結事業所等を中心に連携を図っている。また健康寿命をのばすため、日常生活の中で気軽に楽しみながら運動していただけるよう作成した「松江市の歌」に乗せたエクササイズ「まつえっこ体操」を作成した。								
60	健康まつえ応援団数	事業所	61	65	65	68	68	100 (R5)	D
説明	『健康まつえ応援団』は「働きざかり世代」の健康づくりを積極的に推進する事業所で、現在68事業所が登録している。①従業員に対する生活習慣病予防等の健康づくりの取組、②市民への健康づくりの普及啓発、のいずれかの取組を行う。従業員の健康づくりに留まらず、市民へのけんしん受信啓発など、健康情報の発信に協力いただいている。応援団登録事業所や関係機関等と連携しながら働きざかり世代へのアプローチを行う。								
61	国保特定健診受診率	%	49.2	44.6	44.9	45.8	23.8	60 (R5)	D
説明	健康診査受診者数は回復傾向にあるが、コロナ前の水準には至っていない。引き続き、受診率向上のために周知・啓発等に務める必要がある。								
62	3歳児の朝食欠食率	%	4.6	4.9	4.4	4.3	5.1	0.0	C
63	認知症相談窓口認知率	%	29.2	-	-	27.2	-	50 (R4)	C
64	認知症初期集中支援チーム対応件数 〈再掲〉	件	26	27	32	34	35	50	B
65	通所型サービスB団体数 〈再掲〉	団体	20	23	24	18	21	50	C
66	訪問型サービスB団体数 〈再掲〉	団体	3	3	3	1	1	10	D
説明	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて活動を休止している団体もあるため、再開に向けた働きかけを行うとともに登録団体を拡充して行く必要がある。住民主体型サービスについて、広報活動を継続し、補助制度の周知を行うことで、元気高齢者が社会参加できる場を増やす。								
67	認知症カフェ数（会場数） 〈再掲〉	カ所	8	8	9	8	9	11	B

数値目標

	項目	単位	R1 策定年	R2	R3	R4	R5	R6	達成 度
				← コ	ロ	ナ	禍 →	(11月末)	
20. 生活困窮者への生活支援の充実									
68	自立相談支援機関新規相談件数	件	424	424	609	609	281	650	C
69	協力事業所開拓	事業所	36	36	36	64	64	45	達成!
説明	くらし相談支援センターの行う就労支援および就労準備支援事業についてパンフレット等を活用し、相談者の方への説明や関係機関への広報・周知を行っている。就労支援にとどまらず社会参加の機会を創出するために、重層的支援体制整備事業の参加支援事業とも連携した、社会参加、居場所支援、就労準備支援を検討していく。								
70	職場体験実施人数	名	9	9	10	7	9	20	D
説明	企業に対して職場体験事業の説明・協力の依頼等を行い、職場体験を実施した。新型コロナウイルス感染拡大のため受入れが困難な事業所もあった。体験をきっかけに就労意欲が高まり、その後の就労につながったケースもある。引き続き、企業に職場体験事業の説明・協力の依頼等を行い、様々な産業において協力企業職場の開拓を図る。								
71	本事業利用者の高校進学率	%	100	100.0	100.0	100.0	—	100.0	A
72	松江市全体の要保護・準要保護生徒の進学率	%	84.2	88.0	99.1	97.6	—	99.0	A
21. 再犯防止施策の推進 《地方再犯防止推進計画》									
73	社会を明るくする運動延べ参加人数	人	5,433	4,691	1,809	4,784	3,760	6,000	C
22. 自死に追い込まれることのない社会の実現									
74	自殺死亡率	%	—	13.3 (R1)	22.1 (R2)	17.8 (R3)	14.9 (R4)	11.0	C
75	ゲートキーパー養成研修受講者数	人	2,608	2,716	2,839	2,972	2,972人 (R4年度末)	3,000	B

数値目標一覧 <第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和2年度～令和6年度）>

基本目標	1	2	3	4	⑤	安心して住み続けられるまちづくりをめざす
------	---	---	---	---	---	----------------------



- 【新規事業】
- R2
- 福祉的支援を要する市民への移送支援
新規内容 住民主体の移送サービス
拡充 社会福祉法人などの協力を得て新たな移送支援の仕組みづくり
 - 緊急通報FAX NET119
- R5
- AIデマンドバス運行（八束）

【評価】

- 数値目標8項目のうち、4項目が7割以上の達成度（達成！,A,B評価）。
- 一方、達成度が4割未満であるD評価が2項目ありました。

数値目標

項目	単位	R1 策定年	R2 ← □ □ ナ 禍 →	R3	R4	R5 (11月末)	R6 (目標値)	達成度	
23. 住宅・生活環境の整備									
76	高齢者改善工事を行った住戸数	戸	3	1	2	3	2	5	C
77	拠点を持つ単位自治会の割合 <再掲>	%	52.6	52.6	52.6	52.7	52.8	53.3	A
24. 移動手段の確保									
78	高齢者バス割引延べ利用者数	人	475,453	338,192	331,307	314,907	194,129	500,000	D
説明	バスカードの販売終了に伴い、令和4年3月より高齢者優待ICOCAを利用した割引制度を導入した（70歳以上の高齢者に対し、利用運賃の100円を助成）。引き続き利用促進を図るため、対象者へ広く周知する。								
25. 防災・防犯体制の充実									
79	要配慮者支援推進事業世帯カバー率 <再掲>	%	37.9	39.4	42.0	43.3	44.7	70.0	C
80	自主防災組織結成率	%	71.1	71.8	74.0	74.7	75.2	100.0	B
81	補助金活用地区数	地区	11	5	8	8	5	29	D
説明	今年度、新型コロナウイルス感染症の影響が減ったこともあり、自治会町内会活動が少しずつ行われるようになってきたことから、防災訓練や防災研修会を開催される地区が増えてきた。各地区の災害対策本部等が実施する防災訓練や研修会を協働で行い、併せて経費の一部補助を行う。								

数値目標

	項目	単位	R1 策定年	R2	R3	R4	R5 (11月末)	R6 (目標値)	達成度
				← □	□ ナ	禍 →			
82	松江市救急医療情報活用事業 累積利用者数	人	7,629	7,629	8,791	9,121	9,275	9,800	A
83	松江警察署管内の年間刑法犯認知件数	件	950	657	569	632	735	780	A